

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2024
JUNE

No. 139

Sat. 1st June
Tokyo Opera City Series

No. 721

Sat. 15th June
Subscription Concert

No. 136

Sun. 16th June
Niigata Subscription Concert

6



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

| | |
|-------------|---------------|
| 音楽監督 | ジョナサン・ノット |
| 桂冠指揮者 | 秋山和慶 |
| | ユベール・スダーン |
| 正指揮者 | 原田慶太楼 |
| 名誉客演指揮者 | 大友直人 |
| 永久名誉指揮者 | アルヴィド・ヤンソンス ◆ |
| | 上田 仁 ◆ |
| | 遠山信二 ◆ |
| | |
| 名誉コンサートマスター | 大谷康子 |
| | |
| 第1コンサートマスター | 小林啓成 |
| | グレブ・ニキティン |
| コンサートマスター | 田尻 順 |

| | |
|------|------------|
| 会長 | 澤田秀雄 |
| 理事長 | 岡崎哲也 |
| 副理事長 | 平澤 創 |
| | 依田 巽 |
| 専務理事 | 廣岡克隆 |
| 理事 | 阿部武彦 辻 敏 |
| | 池辺晋一郎 永山 治 |
| | 伊藤美樹 寔野 剛 |
| | 大橋 博 南部靖之 |
| | コンジュン 福川伸次 |
| | 庄司 薫 藤原 洋 |
| | 菅谷貴子 増岡聡一郎 |
| | 竹中平蔵 森 京子 |
| 監 事 | 磯村文靖 |
| | 寺西基之 |
| 評議員長 | 金山茂人 |
| 最高顧問 | 梅沢一彦 星 久人 |
| 評議員 | 鷲海暉明 山添 茂 |
| | 片山泰輔 芳野まい |
| | 加藤英輔 |
| 特別顧問 | 飯島延浩 |
| | 草壁悟朗 |
| | 福田紀彦 |

【ハープ寄贈：環境ステーション株式会社】

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 小山あずさ
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 加藤まな
- 福留史純
- 阿部真弓
- 河堀あずさ
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 辻田薫り
- 坂井みどり
- 塩谷しずか
- 渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 新井瑞穂*
- 金田晃司*

Cellos

- ☆伊藤文嗣
- ☐笹沼 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行●
- 樋口泰世
- 福崎茉莉子

Double Basses

- ☐助川 龍
- コーディ・ロースブーム
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子

Flutes

- 相澤政宏
- 竹山 愛

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
- 浦脇健太
- 荒木良太*

Oboe & English horn

最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- 福士マリ子
- 福井 蔵
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 加藤智浩
- 満根伸吾
- 白井有琳*

Trumpets

- 澤田真人
- 野沢岳史●
- 松山 萌
- ローリー デイラン*

Trombones

- 大馬直人
- 鳥塚心輔
- 住川佳祐

Bass Trombone

藤井良太

Tuba

近藤陽一

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Librarians

- 林 知也
- 加藤幸子

Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

栄誉団員

井伊 準◆

楽団長

廣岡克隆

編成局シニア・ディレクター

藤原 真

パーソネル・マネージャー

謝名元 民

楽団委員

- 小西応興 (議長)
- 福留史純 (書記)
- 清水泰明
- 多井千洋
- 北村一平
- 藤井良太

事務局長

辻 敏

事務局

- 市川萌都
- 伊藤瑛海
- 榎 日向
- 小川博司
- 尾木貴雄
- 桐原美砂
- 高瀬 緑
- 竹内裕子
- 長久保宏太郎
- 山田道子
- ☐櫻川純子
- 三橋真琴*

名誉団友

- 深江泰輔 ◆
- 三木晴雄 ◆

団 友

- 天野佳和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 石川晴佐世
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原未莉
- 内田彬雄
- 内田乃利子
- 宇都 実
- 梅田 学
- 大隈雅人
- 大塚正昭
- 大基雄男
- 大和田浩明
- 大和田ルース
- 小川さえ子
- 萩野 晃
- 奥田昌史
- 音川優二
- 加藤谷直美
- 笠原尚二
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 黄原亮司
- 小林照雄
- 小林亮子
- 阪本正彦
- 佐川聖二
- 佐々木真
- 藤崎 隆
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 武田英昭
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十嵐正一
- 豊山 悟
- 中塚和良
- 中塚博則
- 中山 智
- 西依智子
- 西脇秀治
- 野村真彦
- 馬場弘弘
- 原田美保子
- 日野 奏
- ペアン・ボーマン
- 前田健一郎
- 松崎里絵
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 野本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺 功
- 渡辺啓郎

☆ソロ首席奏者 ○首席奏者 ☐客演首席奏者 ○フォアシュペラー ●インスペクター

■本部長 ☐シニア・ディレクター * 研究員・準事務局員 ◆ 故人

演奏会でのお願い Concert Manner Guide



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットは記載されている座席番号にのみ有効です。
座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



演奏中はお静かに

手荷物に付けている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご
配慮ください。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめく
る音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内
に響きます。

Please be silent during the performance.



開演前に携帯電話、時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は
必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and
all other noise-emitting electronic devices before the
performance begins.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い帽子や高さのある帽子は
脱いでご鑑賞ください。またリズムをとる行為も迷惑になりま
すのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way
which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



カーテンコールを除いて、 ホール内での録音・録画・ 許可のない写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited,
except for Curtain calls.



演奏中の飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は場内に響きますので、演奏中の
開封はご遠慮ください。

Refrain from eating and drinking during the performance.



補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウリングの発生を避けるために
きちんと装着されているか今一度確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check
that your device is suitably set before the performance
begins.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。途中入場がある場
合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a
performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえますよう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from
any coughing or sneezing.



曲の余韻も演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance.
Please hold your applause until the actual end of the performance.

カーテンコールの 撮影について

定期演奏会・川崎定期演奏会・東京オペラシティシリー
ズ・特別演奏会・新潟定期演奏会にて終演後のカーテン
コールの撮影が可能になりました。撮影は自席にご着
席のまま、周りのお客様へご配慮いただけますようお願い
いたします。

◎前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません

◎フラッシュの使用、目線より
高い位置での撮影はご遠慮ください

◎SNS等に掲載する際は、
ほかのお客様の映り込みにご注意ください

◎スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、
自撮り棒の使用はご遠慮ください

6/1 SAT.

東京オペラシティシリーズ 第139回

2024年6月1日(土) 14:00

Tokyo Opera City Series No.139

Sat. 1st. June 2024, 14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

沼尻竜典 [指揮]

エリック・ルー [ピアノ]

砂川涼子 [ソプラノ]

グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

NUMAJIRI Ryusuke, Conductor

Eric LU, Piano

SUNAKAWA Ryoko, Soprano

Gleb NIKITIN, Concertmaster

ショパン:ピアノ協奏曲 第2番

へ短調 op.21 (30')

I.マエストーソ

II.ラルゲット

III.アレグロ・ヴィヴァーチェ

休憩(20')

グレツキ:交響曲 第3番 op.36

「悲歌のシンフォニー」(53')

I.レント - ソステヌート・トランキッロ・マ・カンタービレ

II.レント・エ・ラルゴ - トランキリッシモ

III.レント - カンタービレ・センブリーチェ

F.CHOPIN : Piano Concerto No.2

in F minor op.21 (30')

I. Maestoso

II. Larghetto

III. Allegro vivace

Intermission(20')

H.GÓRECKI : Symphony No.3 op.36

“Symphony of Sorrowful Songs” (53')

I. Lento - sostenuto tranquillo ma cantabile

II. Lento e largo - tranquillissimo

III. Lento - cantabile semplice

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)|独立行政法人日本芸術文化振興会

楽曲解説はP.06をご覧ください

6/1 SAT.



NUMAJIRI Ryusuke

Conductor

沼尻竜典

[指揮]

神奈川県フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督、びわ湖ホール桂冠芸術監督。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以後、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、フランス放送フィル、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スロバキア・フィル、シドニー響、チャイナ・フィル等、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内外で数々のポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサートの双方において多くの名演を残した。ケルン、ミュンヘン、ベルリン、バーゼル、シドニー等の歌劇場へも客演。16年間にわたって芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、ミヒャエル・ハンペの新演出による《ニーベルングの指環》を含め、ワーグナーの主要10作品をすべて指揮。14年には横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

Music Director of Kanagawa Philharmonic Orchestra. Music Director of Tokyo Mitaka Philharmonia. After winning at Besançon Competition he has been invited by international orchestras such as London Symphony Orchestra, Montreal Symphony Orchestra, Orchestre du Capitole de Toulouse, DSO Berlin, La Verdi Milano, Slovak Philharmonic Orchestra, Sydney Symphony Orchestra, Saito Kinen Orchestra and also by the major opera theaters in Cologne, Berlin, Munich, Sydney and Tokyo. He had led successful productions at Theater Lübeck as General Music Director. At Biwako Hall, during 16 years as Artistic Director he has been achieving tremendous success on Wagner's 10 productions including "Der Ring des Nibelungen". In 2014 Numajiri composed and made world premiere a beautiful opera by Japanese famous folktale "Bamboo Princess", known as story of Princess Kaguya, which has been repeated and highly acclaimed. He was awarded Medal of Honor with the Purple Ribbon by Emperor of Japan in 2017.

Eric LU

Piano **エリック・ルー** [ピアノ]

2015年、17歳でショパン国際コンクール4位入賞、2018年、20歳でリーズ国際ピアノコンクール優勝。翌年ワーナー・クラシックスと専属契約を結び、ショパンやシューベルト作品集をリリース。2021年にはエイヴリー・フィッシャー・キャリア・グラントを受賞。以来、シカゴ響、ボストン響、ロンドン響など世界の一流オーケストラとの共演、BBCプロムスへの出演、主要ホールでのリサイタルなど国際的な活動を続けている。1997年米国マサチューセッツ州生まれ。2013年にカーティス音楽院へ入学し、ロバート・マクドナルド、ジョナサン・ビスに師事。またダン・タイ・ソン、内田光子やイモーゼン・クーパーの指導も受けている。



©Ben Ealovega

Eric Lu won First Prize at The Leeds International Piano Competition in 2018. The following year, he signed an exclusive contract with Warner Classics leading to three albums.

Orchestral collaborations include the London, Chicago and Boston Symphony, Los Angeles Philharmonic, under such conductors as Riccardo Muti, Ryan Bancroft, Marin Alsop, Duncan Ward, Vasily Petrenko, Edward Gardner.

He is presented on stages including Concertgebouw Amsterdam, Queen Elizabeth Hall London, Leipzig Gewandhaus, Elbphilharmonie Hamburg, Wigmore Hall.

Eric first came to international attention as a Laureate of the 2015 Chopin International Competition aged just 17. He is a graduate of the Curtis Institute of Music.

SUNAKAWA Ryoko

Soprano **砂川涼子** [ソプラノ]

可憐な舞台姿と聴くものの心を震わせる歌声で高い人気を誇るソプラノ歌手。日伊声楽コンクール優勝、日本音楽コンクール第1位等、数々の受賞歴を誇る。武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。その後イタリアでも研鑽を積む。新国立劇場「オルフェオとエウリディーチェ」エウリディーチェで本格的オペラデビュー、以来、数々の公演に出演を続け、その実力に裏打ちされた歌唱は常に高い評価を得ている。また、活動の場はオペラにとどまらず、オーケストラ公演、リサイタルでも全国各地から招かれている。テレビ、ラジオへの出演も数多く、NHKニューイヤーオペラコンサートにも出演を重ねる。沖縄県宮古島出身。藤原歌劇団団員。武蔵野音楽大学講師。



©Yoshinobu Fukaya

Born in Miyakojima in Okinawa. Studied at Musashino Academia Musicae in Tokyo and Milan. Winner of the first prize in the 34th Concorso Italo-Giapponese as well as the 69th Music Competition of Japan. She debuted at New National Theatre Tokyo with Euridice in "Orphée et Eurydice" in 2000. Since then, she has earned high acclaim for numerous roles there, Biwako Hall, Nissay Theatre, Fujiwara Opera company and many concert-style opera with major orchestras. She has appeared in the NHK New Year Opera Concert since 2002. Her two CDs, both "Bel Canto" and Japanese songs album are highly acclaimed.

6/1 SAT.

フレデリック・ショパン(1810～1849)

ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 op.21

このへ短調のピアノ協奏曲が初めて国立劇場に鳴り響いた夜は、ウィーン・デビュー成功を引っ提げワルシャワに帰還したショパンが、その名を郷里において不動のものにした瞬間でもあった。ショパンをウィーンに送り出した父・ニコラは、激動の時代に、知性と経営の両輪で人生を切り拓いた人だったようだ。ニコラは、ロレーヌ公国のマランヴィル(葡萄とワインの名産地は現在、仏北西部のヴォージュ県下に含まれる)に生まれた。彼を可愛がってくれたアダム・ヴェイドリヒを領地の管理人として雇用したポーランド貴族ミハウ・パッツ伯爵は、ポーランド史上に刻まれる自由と独立への闘い「バール連盟」を率いた1人であり、ヴェイドリヒが若くして秘書として仕えたミハウ・ヴィエルホルスキも、連盟が思いを伝えるためにヨーロッパ各国に送った使節の1人で、ルイ15世宮廷に赴いた人だった。伯爵死後、ヴェイドリヒと共にニコラ(ミコワイになる)がポーランドの地を踏んだのは16、7歳のこと。

その後、ショパンが生まれた年には、ワルシャワの高等学校教授の席を得る。校長サミュエル・リンデの計らいだったそうだが、名高い言語学者リンデの目に留まる存在になっていたということであろう。ミコワイは、学校の入った宮殿の中で、地方からの上流子弟のために、良質な食事や洗練された礼儀作法を身につけられる高級寄宿舎を営む手腕も発揮し、ショパン家のサロンはワルシャワの知識人たちが彩るところとなっていた。

出版が後になったため第2番となっているが、作曲は第1番とされるホ短調より先。ホ短調を初演した1830年10月の公演から20日余り後にワルシャワを離れたショパンが、再びポーランドの地を踏むことはなかった。

第1楽章 マエストーソ へ短調 4/4 協奏風ソナタ形式

第2楽章 ラルゲット 変イ長調 4/4 ショパンが親友のヴォイチェホフスキに「憧れの人を見つけてしまった」と書き送ったソプラノのコンスタンツィヤ・グワトコフスカを想って書いた楽章と言われる。

第3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ へ短調 3/4

小倉多美子 Text by OGURA Tamiko

作曲: 1829～30年

初演: 1830年3月17日、ワルシャワ国立劇場 指揮・カロル・クルピンスキ、作曲家自身のピアノ・ソロによる

編成: 独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン1、ティンパニ、弦5部

ヘンリク・ミコワイ・グレッツキ(1933～2010)

交響曲 第3番 op.36「悲歌のシンフォニー」

ナチス台頭期のポーランドに生まれ育ったグレッツキは、第2次大戦後にパリに滞在したとき初めてメシアン、シュトックハウゼンらの音楽を知って衝撃を受けるが、ソ連傘下の共産主義国となったポーランドでは前衛音楽を書くことは難しかった。だが、1956年に現代音楽祭「ワルシャワの秋」が始まると、ポーランドの作曲家たちは自由な音楽表現を躊躇しなくなり、グレッツキも不協和音やセリーを用いた作品を発表して国際的な注目を集めるようになる。1960年代には半音階クラスター、ノイズ音響も用いる一方、ドリア旋法、古い時代のカノンによる音楽も世に問うた。しかし70年代に入ると、調性に依拠した平明な旋律線、単純な和音の積み重ねといったシンプルな手法へと作風を昇華させていく。その代表的な作品が、1976年に作曲され77年に初演された本作である。オーケストラとソプラノ独唱のために書かれた本作は全曲を通じて遅いテンポと沈鬱な雰囲気貫かれ、壮大な音響のもと、底知れぬ悲しみを湛えた歌詞が歌われる。

第1楽章 全曲の半分以上を占める長大な楽章。弦楽器が延長されたカノンを波のうねりのように延々と奏したのち、15世紀後半の修道院で歌われた哀歌(歌詞は聖母マリアがイエスとの別れを悲しむ内容)をソプラノが歌い出す。

第2楽章 テキストは、第2次大戦中ザコパネに設置されていたナチス秘密警察の収容所の独房の壁から戦後発見された18歳のユダヤ人女性収容者ヘレナ・ヴェンダ・ブワジュシャクヴナの祈りの言葉「お母さん、どうか、どうか泣かないで。いと清らかなる天の女王よ。どうかいつも私をお助けください。健やかなるマリア様!」。続けて署名と年齢、「1944年9月25日から投獄される」の日付が書かれていた。

第3楽章 歌詞は「いったい どこへ行ってしまったのか、わが愛しい息子は? きつと蜂起のさなか、息子は憎き敵どもに 殺されたのだ。……」という母の嘆きを歌う民謡から採られている。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲: 1976年

初演: 1977年4月4日仏ロワイヤン国際現代芸術祭の一環として、エルネスト・ブール指揮、ステファニア・ヴォイトヴィチ独唱、南西ドイツ放送交響楽団。

編成: ソプラノ独唱、フルート4 (ピッコロ持替2)、クラリネット4、ファゴット2、コントラファゴット2、ホルン4、トロンボーン4、ハーブ、ピアノ、弦5部

6/1 SAT.

グレッキ:交響曲 第3番 op.36 「悲歌のシンフォニー」 [歌詞対訳]
 Górecki : Symphony No.3 op.36 "Symphony of Sorrowful Songs" 訳:平岩理恵

1.Lento, sostenuto tranquillo ma cantabile

Synku miły i wybrany.
 Rozdziel z matką swoje rany;
 A wszakom cię, synku miły,
 w swem sercu nosiła.
 A także tobie wiernie służyła.
 Przemow k matce,
 bych się ucieszyła,
 Bo już jidziesz ode mnie,
 moja nadzieja miła.

2.Lento e largo, tranquillissimo

Mamo, nie płacz, nie.
 Niebios Przewidywająca Królowo.
 Ty zawsze wspieraj mnie.
 Zdrowaś Mario.

3.Lento, cantabile semplice

Kajze mi sie podziol
 mój synocek miły?
 Pewnie go w powstaniu
 zle wrogi zabily.

Wy niedobrzy ludzie,
 dlo Boga świętego
 cemuście zabili
 synocka mojego?

レント-ソステヌート・ トランキッロ・マ・カンタービレ

私の愛おしき、選ばれし息子よ、
 そなたの傷を母と分かち合いたまえ。
 愛おしき息子よ、私はそなたを
 心の中に抱きつづけてきたのだから、
 かくも忠実にそなたに仕えてきたのだから。
 母に語りかけて、
 喜ばせておくれ、
 そなたはもう私の許を去ってしまうのだから、
 私の愛おしい希望よ。

レント・エ・ラルゴ・トランキリッシモ

お母さん、どうか、どうか泣かないで。
 いと清らかなる天の女王よ。
 どうかいつも私をお助けください。
 健やかなるマリア様!

レント-カンタービレ・センプリーチェ

いったい どこへ行ってしまったのか、
 わが愛しい息子は?
 きっと蜂起のさなか
 息子は憎き敵どもに 殺されたのだ。

聖なる神に背く
 ならず者どもよ、
 お前たちはいったいなぜ
 わが息子を殺したのか?

Zodnej jo podpory
juz nie byda miała,
choć bych moje
stare ocy wyplakała.

Choćby z mych też gorkich
drugo Odra była,
jesce by synocka
mi nie ożywiła.

Lezy on tam w grobie,
a jo nie wiem kandy,
choc sie opytuja
miedzy ludzmi wsandy.

Moze nieboroczek
lezy kaj w dolečku.
a mógłby se lygać
na swoim przypiecku.

Ej, ćwierkeycie mu tam,
wy ptosecki boze,
kiedy mamulicka
znaleźć go nie moze.

A ty, boze kwiecie,
kwitnijze w około,
niech sie synockowi
choć lezy wesolo.

もはや母者^{ははぢ}には
いかなるよりどころもありはせぬ。
わが老いた目を
涙でどんなに洗い流そうとも。

わが熱き涙は もうひとつの
オドラ川をなしたとしても、
息子はもはや
わがもとに蘇ることはない。

息子はどこそぞの墓に横たわっていよう。
なのに母者はその場所を知らぬ。
どこに行っても 人々に分け入り
尋ねまわっているにもかかわらず。

憐れな息子は いずこともしれぬ
穴の中に横たわっているのだろうか。
暖炉脇の自分の寝台で
横になることもできただろうに。

それ 神の小鳥たちよ、せめて
息子のためにさえずっておくれ。
この母者が息子を
見つけてやれないならば。

そして 神の花たちよ、どうか
あたり一面 咲きほこっておくれ。
せめて わが息子が 愉快な場所で
眠りにつくことができるよう。

6/15 SAT. 16 SUN.

第721回 定期演奏会

2024年6月15日(土) 18:00 サントリーホール

Subscription Concert No.721

Sat. 15th. June 2024, 18:00 Suntory Hall

第136回 新潟定期演奏会

2024年6月16日(日) 17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

Niigata Subscription Concert No.136

Sun. 16th. June 2024, 17:00 Ryutopia Concert Hall

ドミトリー・マトヴィエンコ [指揮]

高橋優介 [ピアノ]

グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Dmitry MATVIENKO, Conductor

TAKAHASHI Yusuke, Piano

Gleb NIKITIN, Concertmaster

ラヴェル:道化師の朝の歌(8')

M.RAVEL: Alborada del gracioso
from the Suite "Miroirs" (8')

ラヴェル:組曲「マ・メール・ロワ」(29')

M.RAVEL: Ma mère l'Oya (29')

I.眠りの森の美女のパヴァーヌ

I.Pavane de la belle au bois dormant

II.おやゆび小僧

II.Petit Poucet

III.パゴダの女王レドネット

III.Laideronnette, impératrice des pagodes

IV.美女と野獣

IV.Les entretiens de la belle et de la bête

V.妖精の庭

V.Le jardin féerique

休憩(20')

Intermission(20')

ストラヴィンスキー:バレエ音楽
「ペトルーシュカ」(1947年版)(34')I.STRAVINSKY: Petrushka
(1947 version) (34')

- 主催/公益財団法人東京交響楽団(6/15)、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団(6/16)、TeNYテレビ新潟(6/16)
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)|独立行政法人日本芸術文化振興会(6/15)、文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会(6/16)

新潟定期演奏会は、新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。

※当初の予定から曲目が一部変更となりました。

楽曲解説はP.12をご覧ください





Dmitry MATVIENKO

Conductor

ドミトリー・
マトヴィエンコ
[指揮]

2021年マルコ国際指揮者コンクールにて第1位と聴衆賞を受賞。2020年グイド・カントェリ国際指揮者コンクールにて批評家賞とメイド・イン・イタリアー賞を受賞。24/25年シーズンより、オーフス交響楽団の首席指揮者に就任。

昨シーズンは、カルロ・フェリーチェ歌劇場管、モンテカルロ・フィル、ポローニャ市立劇場管、トリノ王立歌劇場管、ロシア・ナショナル管、ベルゲン・フィルなど数々のオーケストラを指揮。アデレード響、南デンマーク・フィル、デンマーク国立響、ヘルシンボリ響、マドリッド市立管、フェニーチェ劇場管、オーフス響、アイスランド響等とも共演している。

2023年、ローマ歌劇場にて、ワリコフスキ『死者の家から』のイタリア初演を務め、イタリア・オペラデビューした。

23/24年シーズンは、東京交響楽団でのデビューをはじめ、デンマーク国立響、モンテカルロ・フィル、カリアリ・リリコ劇場管、ヘルシンボリ響、リール国立管等との演奏会が予定されている。

Dmitry Matvienko is the winner of the 2021 edition of the prestigious «Malko Competition for Young Conductors» with First prize and Audience prize. Previously, he was awarded with the Critics and the «Made in Italy» prizes at the International Conducting Competition «Guido Cantelli».

He has been appointed Chief Conductor of Aarhus Symphony Orchestra starting from 24/25 season.

During the last seasons he conducted prestigious orchestras such as Orchestra del Teatro Carlo Felice Genova, Orchestre Philharmonique de Monte-Carlo, Orchestra Teatro Comunale Bologna and more.

He made his Italian operatic debut at the Teatro dell'Opera in Rome, leading the Italian premiere of Warlikowski's successful production of From the house of the Dead.

In 23/24 season he is awaited for returns to the podium of the Danish National Symphony, Orchestre Philharmonique de Montecarlo, Orchestra del Teatro Lirico di Cagliari, Helsingborg Symphony, Orchestre national de Lille, Aarhus Symfoniorkester.

6/15 SAT. 16 SUN.

モーリス・ラヴェル(1875～1937)

道化師の朝の歌(管弦楽版)ー鏡より

バスク系の母を通じて幼少期からスペインの音楽や文化に親しんでいたラヴェルは、初期の〈ハバネラ〉から遺作《ドゥルシニア姫に想いを寄せるドン・キホーテ》まで、スペインの風物を作品の題材として好んで取り上げた。〈道化師の朝の歌(Alborada del gracioso)〉は、このうち彼がスペイン語のタイトルを与えた事実上唯一の楽曲である。

原題中の「グラシオーソ」とは、ラヴェルによればスペイン喜劇の「かなり独特な登場人物」で、曲名をスペイン語としたのもこの語をフランス語に翻訳することが不可能だったからだという。その役柄は、フランスの劇作家ボーマルシェの生み出した陽気な従僕フィガロ(『セビリアの理髪師』『フィガロの結婚』などに登場)に近いが、それほど哲学的ではなく、もっとお人好しなのだとラヴェルは説明している。

1905年にピアノ曲集《鏡》の第4曲として作曲されたこの曲は、13年後、バレエ・リュスの支配人ディアギレフの依頼を受け、スペインをテーマとするバレエ公演のために管弦楽編曲された(実際にはこのバレエ公演よりも演奏会での初演のほうが先になった)。《鏡》の5曲の中でラヴェル自身がオーケストレーションを手掛けたのは2曲のみ。後に取り下げられた〈海原の小舟〉と異なり、〈道化師〉の編曲はこの完璧主義の作曲家をも満足させる出来であったようだ。

楽曲全体はABAの三部形式で構成される。ギターの爪弾きを模したピッツィカートで始まる主部は、きびきびとしたリズムと独特の諧謔性で道化役者の性格を生き生きと描き出し、中間部では朗唱風のメランコリックな「朝の歌」が支配的になる。編曲は基本的に原曲に忠実だが、高速連打や重音のグリッサンドなどの鍵盤上の超絶技巧は、様々な楽器に移し替えられることで特有の幻惑的な効果を生み出している。「スペインらしさ」を演出するカスタネットやタンバリンなどの賑やかな打楽器群もまた、管弦楽版ならではの魅力を存分に感じさせてくれる。

神保夏子 Text by JIMBO Natsuko

作曲: 1905年ピアノ版作曲、1918年年管弦楽版編曲

初演: 1906年1月6日、リカルド・ビニェス(ピアノ)、国民音楽協会 / 1919年5月17日、ルネ・バトン(指揮)、パドルー管弦楽団

編成: フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、タンブリン、シンバル、トライアングル、アンティーク・シンバル、カスタネット、木琴、ハープ2、弦5部

モーリス・ラヴェル(1875～1937)

組曲「マ・メール・ロワ」

近代フランス音楽の立役者のひとり、モーリス・ラヴェルは、お洒落で几帳面、感情をあまり表に出さないクールな人柄だったといわれるが、実は子どもが大好きだった。「マ・メール・ロワ」の原曲は、ラヴェルと親交があったゴデブスキ家のふたりの子ども、ミミとジャンに捧げられたピアノ連弾曲である。ラヴェルは子どもたちに会うとお話を聞かせたり、ピアノを弾いたり、ロバになって背中に乗せたりして遊び、夫妻の旅行中には子守り役をすることもあった。ミミは後に「ラヴェルには子どもっぽさと優しさがあった。でもそれを表に出さなかったので、ほとんど気づかれなかった」と回想している。

「マ・メール・ロワ」というタイトルは、フランスの作家、シャルル・ペローの童話集「マ・メール・ロワのお話」からとられている。ラヴェルはペローの童話そのほかを題材に5曲からなるピアノ組曲を書き上げ、翌年の1911年にオーケストラ用に編曲した。バレエ化もされたラヴェルの人気作である。

第1曲 眠りの森の美女のパヴァーヌ ペローの童話「眠りの森の美女」による。魔法をかけられて100年間眠っていた王女が、王子の愛によって魔法をとかれる。エオリア旋法(自然短音階)による旋律が郷愁を誘う。

第2曲 おやゆび小僧 ペローの「おやゆび小僧」による。森のなかで迷ったおやゆび小僧は、まいてきたパンくずをたどれば道がわかると思いついていたが、みんな鳥たちが食べてしまった。ひんぱんに変わる拍子が子どもたちの不安な足取りをあらわす。

第3曲 パゴダの女王レドロネット ドーノワ夫人の「緑のヘビ」による。レドロネットが浴槽につかると、パゴダ(中国風の首振り陶器人形)たちが歌い、楽器を奏する。ラヴェルは東洋風の5音階を用いた。

第4曲 美女と野獣 ボーモン夫人の「美女と野獣」による。野獣の愛を受けとめた美女の優しさによって魔法がとけ、野獣は王子の姿に変わる。美女(クラリネット)と野獣(コントラファゴット)によるワルツである。

第5曲 妖精の庭 特定の物語はない。ラヴェルが思い描いた子どもの世界であろう。ラヴェルのもっとも繊細な音楽のひとつである。

遠山菜穂美 Text by TOYAMA Naomi

作曲: 1908～1910年ピアノ連弾版作曲、1911年管弦楽版編曲

初演: 不明

編成: フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ1(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット2、ファゴット2(コントラファゴット持替1)、ホルン2、ティンパニ、大太鼓、シンバル、タムタム、トライアングル、木琴、グロッケンシュピール、ジュ・ドゥ・タンブル、チェレスタ、ハーブ、弦5部

6/15 SAT. 16 SUN.

イーゴリ・ストラヴィンスキー (1882～1971)

バレエ音楽「ペトルーシュカ」(1947年版)

セントペテルブルク大学法学部在学中にリムスキー＝コルサコフ(1844～1908)に師事したストラヴィンスキーは作曲家を志す。すると1909年に初演した幻想曲「花火」がロシア・バレエ団の主宰者セルゲイ・ディアギレフ(1872～1929)の目に留まり、同バレエ団のための新作を依頼された。第1作「火の鳥」は1910年に初演されて好評を博す。それからまもなく、彼は哀れな操り人形をめぐるドラマを着想する。それをもととする第2作「ペトルーシュカ」は1911年5月26日に完成し、天才ダンサー、ニジンスキーを主演として同年6月13日に初演され成功を収めた。ペトルーシュカとはロシア農民に多い名前ペーテルの愛称。ストラヴィンスキーは哀れなピエロ役にこの名を与え、帝政ロシア下の惨めな農民の姿を象徴させたといわれる。

第1部は謝肉祭の市。見世物小屋でペトルーシュカ、踊り子、ムーア人の3体の人形が「ロシアの踊り」を踊る。音楽はピアノの活躍が目立つ。第2部はペトルーシュカの部屋。粗末な部屋に投げ込まれたペトルーシュカのところへ踊り子がきて彼をからかう。第3部はムーア人の部屋。踊り子がソロを踊ったのち、ムーア人とワルツを踊る。第4部は夕方の謝肉祭の市。乳母の踊り、熊を連れた農夫の踊り、行商人と2人のジプシー娘、馭者と馬丁たちの踊り、仮装した人々と続いたところで、ペトルーシュカとムーア人の喧嘩となり、ペトルーシュカがムーア人に殺害される。警官と人形遣いの登場のあと、弱音器をつけたトランペットがペトルーシュカの亡霊の出現を示し、ホルンの鈍い響きと弦のピツィカートで幕となる。音楽にはハ長調と嬰へ長調を組み合わせた「ペトルーシュカ和音」と呼ばれる和音が多用されている。1911年の原典版は4管編成だが、ストラヴィンスキーは1947年に3管編成に縮小した改訂版を書いた。編成は小さくとも、原典版よりもティンパニ、トランペットに比重が置かれたため華やかな演奏効果に優れ、色彩感も豊かである。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲：1911年／1947年

初演：1911年版：1911年6月13日、1947年版：不明

編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット3(バスクラリネット持替1)、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・テューバ1、ティンパニ、ハープ1、ピアノ、チェレスタ、バスドラム、シンバル、スネアドラム、タンブリン、トライアングル、木琴、タムタム、弦5部

TAKAHASHI Yusuke 高橋優介 Piano【ピアノ】

第10回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞受賞。東京文化会館モーニングコンサート、NHKベストオブクラシックをはじめ、多数のコンサートに出演。ピアニスト・作曲家の山中惇史氏と、二台ピアノユニット『176 (un sept six)』を組む。2020年にカワイ出版社より、山中氏と共作で編曲した、レスピーギ作曲のローマ三部作の二台ピアノ版の楽譜が出版されている。現在桐朋学園大学院大学在学。



指揮者 沼尻竜典が語る

日本初演から30年

今、再びの 「悲歌の シンフォニー」

取材／文：高坂はる香（音楽ライター）

30年前の1994年、新星日本交響楽団とグレッキの交響曲第3番「悲歌のシンフォニー」日本初演を担った沼尻竜典。当時のブームやグレッキと面会した際の思い出、作品から感じるメッセージについて話を伺った。

—今再び「悲歌のシンフォニー」を取り上げたのはなぜでしょうか？

紛争や対立により子を失う悲しみは、趣味方、国籍や宗教関係なく共通する心情です。世界のあちこちで理不尽な出来事が起きている中、「愛しい我が子はどこに行ってしまったのか」という悲しみを抱えて生きている方があちこちにいます。そんな今こそ、再びこの作品を取り上げたいと思いました。

—30年前に初演されたときの思い出は？

その頃、デイヴィッド・ジンマン指揮、ロンドン・シンフォニエッタの録音が世界的にブレイクし、日本でも多くの方が心

を動かされ、社会現象といえるほどの大ブームになりました。当時の日本人は、予備知識が全くない状態でこの曲をFM放送などで聴き、引き込まれていきました。私が生まれた頃、ヴィヴァルディの「四季」ブームがありましたが、それに匹敵するくらいCDがたくさん売れました。

国内でも多くのオーケストラが演奏会で取り上げ、新星日本交響楽団との日本初演を私が任されることになりました。話題作ということでチケットもよく売れましたし、各オーケストラの事務局、評論家、ジャーナリストなど、業界の関係者がほとんど皆いらしていた記憶があります。

指揮者 沼尻竜典が語る 日本初演から30年 今、再びの「悲歌のシンフォニー」

—初演を前に、グレッツキさんにお会いになったそうですね。

はい。ベルリンまで会いに行きました。私が優勝したブザンソン国際指揮者コンクールの審査員だったジョン・ネルソンさんがグレッツキさんの友人で、グレッツキさん、ネルソンご夫妻、私の4人で、コンツェルトハウスの横にあるヒルトンホテルで食事をする機会を設けてくださったのです。

すでにこの作品は世界的にヒットしていましたが、グレッツキさんはそれを意識している様子もなく、とても素朴で穏やかな方でした。作品について多くの示唆を受け、帰り際にはぎゅっとハグをいただいたことを覚えています。

作曲科出身の指揮者である私の脳内は、当時はまだどちらかという“作曲家”でしたから、世界的に有名な曲を書いた作曲家と一緒に食事ができたことに大変興奮しました。結局、お会いできたのはそれ1度きりになってしまいました。

—日本で演奏されることを喜んでいらっしゃいましたか？

もちろん！当時、彼の名前は日本ではほとんど知られていませんでした。同年代の武満さんもそうですが、グレッツキさんは年齢とともに作風を変えていった作曲家です。若い頃はいわゆる難解な現代音楽を

書いていたけれど、晩年は調性を取り入れた、聴きやすく、宗教的な音楽を書くようになっていきました。わかりやすい作風になったことでより多くのファンがつき、ほかにも素敵な作品がたくさんあると知った方が多かったと思います。

—グレッツキさんは1933年ポーランド生まれですから、作品にも出てくる第二次世界大戦頃のユダヤ人迫害の時代を実際に経験されているのですね。

生まれ年が私の父と同じなので、ご健在だったら今年91歳ですね。戦争の記憶もある世代です。ポーランドは長らく周辺国から支配された過去がありますが、そのような苦しみをもとにこういう作品が生まれたのでしょうか。

戦争によって引き起こされた深い悲しみを表現した作品に触れると、どちらの国が良い悪いということを超えて、戦争とは愚かな行為だと感じます。

—この作品は、どのように聴くとそのメッセージをより受け取ることができるでしょうか？わかりやすく盛り上がる感じではないけれど、気づいたら頂点に達している印象ですが、その魅力、聴きどころを教えてください。

泣き叫ぶわけでも、爆撃の音を再現するわけでもなく、全体を祈りの感情が支配しています。深い祈りは、宗教宗派を超えて、人類共通のもので、だからこの作品は世界中で受け入れられたのだと思います。



シンプルで、かつゆっくり曲が進んでいくので、それぞれの楽章が一つの弧を描くように演奏しなければなりません。テンポの設定も大事です。例えば途中で少しエキサイティングな部分があっても、指定のテンポから大きく外れないように注意を払います。

第1楽章は低音のテーマに始まり、それをいろいろな楽器が奏でてゆくカノンのような形で音楽が広がります。純度の高い音楽で、だからこそ、難しいことを考える必要なく心に沁み入るのでしょう。

ポーランド語にはなじみのない方が多いと思いますが、事前に訳詞を一度読んでおけば、音楽だけでもメッセージが伝わるように書かれているので、それに身を委ねているだけで十分だと思います。

— ソリストには砂川涼子さんを迎えます。

彼女は、「カルメン」のミカエラや「トゥーランドット」のリユーなど儂げな役柄を得意としています。

今回は、歌唱の位置をまだ考えているところです。指揮者の横に立っていただく通常配置か、オルガンの前に立っていただく“天の声”のイメージに近づけるか…合わせやすさの問題もあるので、当日の会場練習で決めるつもりです。

オペラを多く経験している東京交響楽団は、歌の入った作品で特に大きな力を発揮してくれる印象があるので、共演がとても楽しみです。

今回の公演をきっかけに、またグレツキの再ブームが起きるといいですね。

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社すかいらくホールディングス
株式会社ティーワイ リミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鹸株式会社
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社欽鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
改鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社



©N. Ikegami

ご芳名 (敬称略)

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(5月7日現在、五十音順)。

個人会員

サークル50

- | | |
|-------|---------|
| 磯村 文晴 | 杉山 啓次 |
| 伊藤 晴美 | 長瀬 雅則 |
| 伊藤 美樹 | 山口 積恵 |
| 沖田 陽子 | 山口 知子☆ |
| 鷗海 量明 | 山口 学 |
| 木暮 紀子 | 山口 端 |
| 澤田 秀雄 | 匿名 3名 |
| 清水 尚彦 | ☆名譽パトロン |

サークル25

- | | |
|--------|--------|
| 石川 晴依世 | 鈴木 信恵 |
| 猪田 隆文 | 手塚 和彦 |
| 井上 野昭 | 戸川 二郎 |
| 岡野 一哉 | 平山 智史 |
| 加藤 英輔 | 山本 誠一郎 |
| 後藤 実 | 匿名 3名 |

サークル10

- | | |
|----------|-------------|
| 天野 佳和 | 高田 光官 |
| 新井 祥一 | 高津 麻子 |
| 荒木 陽子 | 高野 幸一 |
| 五十嵐 建平 | 高橋 智子 |
| 井澤 菜緒 | 高島 正行 |
| 稲田 めぐみ | 高家 之博 |
| 岩田 新 | 田中 忍 |
| 内山 誠彦 | 竹田 建一 |
| 梅沢 麻衣 | 谷川 啓明 |
| 遠藤 秀和 | 谷藤 明雄 |
| 大内田 由紀子 | 千葉 清 |
| 大城 幹 | 角田 隆・直子 |
| 大島 肇 | 中澤 守正 |
| 太田 具幸 | 中村 豊 |
| 大塚 潤一 | 成瀬 倉祥 |
| 大畑 浩 | 西谷 公男 |
| 大類 浩 | 橋本 純一 |
| 岡 邦子 | 早川 希 |
| 片山 泰輔 | 原田 美保子 |
| 金山 尚弘 | アーネスト M. 比嘉 |
| 山田 金生 | 平川 尚義・暢子 |
| 木賀 賢市 | 枇把 高志 |
| 木村 光剛 | 正木 和久 |
| 菊池 光 | 増岡 聡一郎 |
| 木内 正則・道子 | 真野 美千代 |
| 小林 光健 | 三浦 麻子 |
| 古丸 和喜夫 | 水越 睦美 |
| 近藤 脩司 | 清田 高久 |
| 斎藤 木 | 三橋 祐太 |
| 佐藤 大助 | 峯岸 信幸 |
| 野野 利勝 | 村本 京子 |
| 佐佐 慎吾 | 森 健 |
| 清水 幹雄 | 森 優子 |
| 白井 恭一 | |
| 高澤 美貴子 | |

- | | |
|-------|--------|
| 森下 国彦 | 山本 明 |
| 八嶽 昭 | 吉井 久美子 |
| 山上 典重 | 吉岡 美恵子 |
| 山口 重雄 | 匿名 16名 |

フレンズ5

- | | |
|--------|--------|
| 東 恭代 | 塩澤 誠司 |
| 有江 純子 | 高際 比呂志 |
| 石原 祥子 | 寺西 基之 |
| 潮田 織 | 中島 信男 |
| 大石 直輝 | 早合 泰弘 |
| 大野 朋彦 | 川庄 利忠 |
| 奥野 紀子 | 古松 正志 |
| 河野 愛 | 山口 聡 |
| 小林 義彦 | 山田 造良 |
| 斉藤 潤一郎 | 山本 哲四郎 |
| 佐藤 信一 | 吉田 良輔 |
| | 和久 貞 |
| | 匿名 2名 |

フレンズ3

- | | |
|--------|--------|
| 青木 眞輝 | 小川 孝 |
| 明田 重樹 | 古杉 純 |
| 明田 洋一 | 山藤 悦司 |
| 荒坂 あかり | 佐藤 香 |
| 池田 一彰 | 佐藤 健 |
| 石澤 卓志 | 芝崎 有男 |
| 白居 正昭 | 清水 良枝 |
| 岩瀬 正昭 | 杉田 いく子 |
| 日居 千枝子 | 鈴木 忠明 |
| 梅本 剛 | 鈴木 眞理子 |
| 大川 元純 | 関根 三善 |
| 大北 純透 | 高石 祐次 |
| 大津 啓一 | 竹内 あゆみ |
| 大塚 展男 | 田中 美貴子 |
| 大笠 昌康 | 谷原 豊 |
| 大橋 康恭 | 都築 直 |
| 小川 篤 | 都築 直 |
| 奥田 桂子 | 中村 元嗣 |
| 小澤 俊文 | 中村 幸雄 |
| 小野 夕里 | 長瀬 利明 |
| 尾島 明子 | 西田 尚弘 |
| 小田 切修 | 根田 直之 |
| 加藤 由美子 | 野口 敏嗣 |
| 兼子 伸彦 | 早川 克己 |
| 狩野 裕基 | 林 美奈子 |
| 菊池 綾 | 春川 京典 |
| 北川 盛弘 | 福田 昭夫 |
| 木村 幸男 | 福田 純子 |
| 久保田 一穂 | 藤田 智雄 |
| 倉谷 宏樹 | |

- | | |
|--------|--------|
| 藤田 俊 | 安江 美穂 |
| 野野 敏之 | 山田 喜義 |
| 森舟 山之内 | 山中 英明 |
| 星 順 | 星 順 |
| 松下 一彦 | 鈴木 みお |
| 三橋 正典 | 横尾 美紗恵 |
| 村田 拓郎 | 匿名 37名 |

フレンズ1

- | | |
|---------|---------|
| ■あ | 大島 康彦 |
| 相磯 久子 | 太田 ル久 |
| 青野 賀子 | 大塚 英司 |
| 赤塚 佳子 | 大友 佳子 |
| 元秋 香 | 大西 喜久 |
| 浅里 恵 | 大畑 幸吉 |
| 安達 大森 | 阿部 八木 |
| 阿部 靖彦 | 阿部 美穂 |
| 阿部 百合子 | 岡野 明德 |
| 井草 公仁 | 岡野 兵衛 |
| 池田 利昭 | 小川 幾子 |
| 石井 有希子 | 小川 弘晋 |
| 磯村 幸一郎 | 小川 安江 |
| 板橋 泰子 | 小川 知子 |
| 伊藤 勉 | 沖 和歌子 |
| 伊藤 晴功 | 奥田 由美子 |
| 伊藤 宗力 | 奥村 壮史 |
| 伊藤 雄一 | 小倉 ヒロ・ |
| 井上 康子 | ミハエル |
| 猪瀬 正 | 生島 靖雄 |
| 井田 邦男 | 小名 雅恵 |
| 今宮 美知子 | 小野 信也 |
| 今村 裕 | 小野 哲也 |
| 今村 裕 | 小野 純二 |
| 岩澤 淳子 | 小畑 嘉丈 |
| 岩瀬 成吉 | 小船井 美穂 |
| 岩瀬 順子 | ■か |
| 岩野 裕 | 甲斐 幸士 |
| 上田 洋子 | 海藤 威司 |
| 内海 一成 | 柏木 仁 |
| 内山 重男 | 方波 見 |
| 内山 真名子 | 葛城 千栄 |
| 内山 誠 | 加藤 憲司 |
| 山野 誠さゆり | 加藤 里加子 |
| 宇野 正芳 | 加藤 妙子 |
| 梅崎 耕和 | 川口 善行 |
| 瓜生 孝義 | 川之上 裕美子 |
| 大嶋 正義 | 菅野 広和 |
| 大島 初彦 | 菊池 海伸 |

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員



©N.Ikegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の予定です。ありがとうございます(5月7日現在、五十音順)。

菊池 正信
北野 雅子
北村 眞亮
木下 亮平
根 弘篤
木村 好一
木村 強
木村 富士子
木村 美智子
京増 純芽
久保田 伸一
栗原 美穂子
黒野 美幸
玄間 徹博
小泉 好士
好土 崎
河野 太
高山 恵子
国府 里美
国府 保周
小坂部 恵子
古平 一雄
小西 淳
小林 恭二
小林 宏州
小林 浩
小近 諒
近内 光一
近内 友史
後藤 裕二
■ 齋木 一宏
齋藤 ひろ子
齋藤 博
齋藤 将隆
齋藤 有典
酒井 典子
坂本 タカ子
坂本 宗明
坂本 慎明
佐々木 紀明
佐々木 通博
佐々木 圭子
佐藤 謙
佐藤 幸子
佐藤 勝
佐藤 孜
佐藤 深雪
佐藤 美和子
佐藤 由紀子
重成 瞳
茂野 俊郎
重松 恒夫
重松 雅一
穴戸 雅一
篠田 一朗
嶋谷 俊也
嶋谷 宏明

清水 惠美子
清水 重夫
志村 崇和
代田 一彦
庄司 大幸
白石 代美
菅澤 昌あやめ
菅原 啓次
杉山 啓明
杉山 慎二
洲合 明子
鈴木 啓介
鈴木 孝治
鈴木 美和
諏訪 幸恵
清水 清木
■ 清田 穂花
関 翔洋
関 洋
■ た 高木 亜希子
高木 敬和
高木 敬晴
高坂 勝麻由子
高坂 主計
高野 洋二
高橋 勝弥
高橋 美穂
高橋 有一
高橋 有ユリ
高松 則雄
高松 幸男
竹内 聖昭
竹内 聖子
竹内 真也
竹内 和彦
竹腰 裕行
竹腰 大和
武田 幹昌
武田 三枝子
立野 由紀子
田中 禎二
田中 浩由香
谷川 小百合
谷川 小守
谷崎 正浩
種田 靖久
井田 和男
塚田 玲子

津久井 淳
津直 洋一
直 佳代
坪井 治男
寺澤 淳夫
遠山 明史
山登 博之
富田 順子
鳥居 夕紀夫
■ な 中 朋子
中 忠
中沢 紀美子
中村 洋一
永井 秀成
長岡 郁子
長岡 富貴子
長野 明子
成合 啓介
新倉 直美
西岡 美和子
西岡 晶
西川 晶
西川 淑子
西川 淳夫
西村 真英
西村 昭明
西山 信弘
野口 誠
野口 真有美
野口 真澄
■ は 橋爪 千鶴子
橋本 和雄
橋本 一史
橋本 憲人
長谷川 京介
長谷川 博
波多 ミサエ
早川 明男
早川 博
林 和宏
林原 ひとみ
原 岳士
原 慶子
原田 泰子
坂東 實
樋口 恵子
後藤 文
廣 直行
廣 直行
深沢 茂美
藤田 獻
古市 雄二
古野 樹仁

堀田 典秀
堀 浩史
堀川 信子
■ ま 泉 正司
前田 光郎
牧 明史
壽 秀樹
桐井 淳一
松岡 主子
松尾 聡
松崎 繁之
松澤 俊郎
松下 敏子
松本 雅則
松本 雅子
丸山 哲也
丸山 哲男
水谷 弘
水谷 晴彦
水野 純子
三田 悦子
峯 雅子
宮川 健司
三宅 靖子
宮崎 靖子
宮崎 朋子
宮崎 昇
宮本 好江
村上 誠司
村瀬 正子
室田 善弘
森 里美
森岡 政和
岡 喧子
■ や 美智子
安富 康男
柳 雅一
柳 友幸
柳 和代
矢野 隆幸
山 裕尼
山 勇二
山岸 政郎
山田 昌克
山田 昌生
山田 義則
山田 博
湯川 俊明
横川 尚洋
山岡 真紀子
吉野 美紀子
吉野 幸子
吉見 幸子
米田 徹

米田 光
米谷 克幸
■ わ 若田部 矩弘
若槻 不二夫
渡邊 朋子
C.S.
N.S.
T.Saito
匿名 130 名

■ 名誉会員
ヨージ・ナガエ・
チエスキーナ

遺贈・相続ご寄付(敬称略)

鈴木 久子
竹内 容子
齋藤公治メモリアル基金
牧野 季子
岡橋 純男
岡橋 孜

法人定期会員

【定期演奏会】
東京コンテナ工業株式会社



特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返し致しますませんが、特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただきます。当団主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱いのみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

安齋 優 東 由美子
伊藤 智志 森山 雅一郎
関根 三善 匿名 8 名
都築 豊 匿名 8 名
(敬称略)

ご連絡はTOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511へお電話をお願いいたします。



<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

| 会員特典 | 詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい | 法人会員 | | フレンズ会員 | | |
|---------------------|-------------------------|------------|-------|--------|-------|---|
| | | サークル 会員 | フレンズ5 | フレンズ3 | フレンズ1 | |
| 主催公演へご案内 | | ○ | ○ | | | |
| ゲネプロ見学会(年3回以上) | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| リハーサル見学会(年3回以上) | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ご芳名掲載 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 主催公演チケット先行予約*1 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 公演チケットをご優待価格にてご案内*2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分*1について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。*

*但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

アンサンブルに一途に想うヴァイオリニスト

水谷 有里

MIZUTANI Yuri

〔第1ヴァイオリン奏者〕2021年9月入団

趣味:毎日のストレッチ



©N. Ikegami

誰かと音楽をしたい

私が通っていたのは、年中になるとヴァイオリンかピアノを選び、定期的に教えてもらえる幼稚園でした。そこで、記憶にはないのですが、ヴァイオリンを選んだのが、楽器との出会いです。小学2年生で福岡県から神奈川県へ引っ越しをした後も、習い事としてヴァイオリンを続けていました。中学校ではコーラス部に入部。コンクールで取り上げられるような合唱曲から、ポップス、グレゴリオ聖歌まで、さまざまな曲を歌いました。知らず知らずのうちに、誰かと一緒に音楽を作り上げることの楽しさに魅了されていたのかもしれない。アンサンブルが楽しくて仕方なく、高校では弦楽合奏部に入り、その魅力に一層取りつかれました。オーケストラでの演奏は、大学に入学してから。「もっとアンサンブルがしたい!」と、授業とは別にアンサンブルができる環境を探し、器楽と合唱と一緒に活動する「バッハ・カンタータ・クラブ」に入部。大学院を修了するまでの7年間所属し、沢山のカンタータを演奏しました。常にアンサンブルで活動がしたいと思っていたので、プロオーケストラへの所属を目標としたことも自然な流れでした。

個々の音を聞きながら

大学院1年目のときに、東響への入団が決まりました。入団直後は慣れないことの連続で不安も多かったのですが、今は前よりステージ上のセクション1人1人の音を聴き分けられるようになってきました。東響のメンバーは、指揮者の要望を理解して、演奏に落とし込むのがとても早いので、もっと反応速度をあげなければ!と思いつながらリハーサルに挑んでいます。

大学でバロックヴァイオリンを始めたり、カンタータクラブに所属したり、古典派までが特に好きな私ですが、近代の作曲家であるストラヴィンスキーも好きな作曲家の一人。古典派時代へ回帰する「新古典主義」の音楽のニュアンスがとても好きで、学生時代にも試験や節目の演奏会で取り上げてきました。「バトル・シユカ」は作風が変わる前の作品。演奏することがとても楽しみです。



幼稚園の発表会にて。

インタビュー:事務局

NEWS & TOPICS

遂にチケット発売開始！
R.シュトラウス「ばらの騎士」(演奏会形式)



ノット指揮、アレン演出監修による東京交響楽団のR.シュトラウス・オペラシリーズは、コンサート形式の概念を全く変えてしまった。オペラ以上にオペラなのである。R.シュトラウスの音楽がいかに舞台をよく説明しているか、演出がいかに音楽的なものか、すべて教えてくれる。いよいよ《ばらの騎士》。この最高傑作のオペラは、《サロメ》《エレクトラ》に続いてこのシリーズの金字塔になるだろう。

—アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員 梅津時比古

◇12/13(金)17:00 サントリーホール
(休憩2回 / 21:30終演予定)

◇12/15(日)14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール
(休憩2回 / 18:30終演予定)

指揮: ジョナサン・ノット / 演出監修: サー・トーマス・アレン

元帥夫人: ミア・パーション
オクタヴィアン: カトリオーナ・モリソン
ゾフィー: エルザ・ブノワ

オックス男爵: アルベルト・ペーゼンドルフアー
ファーニナル: マルクス・アイヒェ、マリアンネ / 帽子屋: 渡邊仁美
ヴァルツァック: 澤武紀行、アンニーナ = 中島郁子
警部 / 公証人: 河野鉄平、元帥夫人家執事 / 料理屋の主人: 高梨英次郎
動物売り / ファーニナル家執事: 下村将太、合唱: 二期会合唱団

[チケット発売日]

東鑑会員先行発売:

6/17(月) 10:00

オンライン先行発売*:

6/20(木) 10:00

一般発売:

6/27(木) 10:00

*TOKYO SYMPHONY オンライン
チケットに登録するだけで一般販
売に先駆けてご購入いただけます。

12/13
公演

12/15
公演

一般発売:
6/27(木) 10:00

東京交響楽団とバーチャルアーティストが初共演！

KADOKAWA×ドワンゴが制作、正指揮者原田慶太楼と当団が監修を務めるクラシック界初の本格派バーチャルアーティスト・プロジェクト「ポルタメタ」が始動。フェスタサマーミュージアのフィナーレコンサートに登場します。舞台上のバーチャル空間から、オーケストラとリアルタイムで共演します。最先端技術を用いた、誰も見たことのない新しいコンサートへの挑戦です。ご期待ください。



◇8/12(月) 15:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮: 原田慶太楼、ヴァイオリン: 川久保賜紀*

ピアノ: 潤音ノクト (バーチャルアーティスト)**

ムソルグスキー (リムスキー=コルサコフ編): 交響詩「禿山の一夜」

吉松 隆: アトム・ハーツ・クラブ組曲第2番

伊福部 昭: ヴァイオリンと管弦楽のための協奏風狂詩曲* / デュカス: 交響詩「魔法使いの弟子」

ガーシュウィン: ラブソディ・イン・ブルー**



潤音ノクト公式YouTube

NEXT PROGRAM

気品・情熱 大友のエルガー

7/7 東京オペラシティシリーズ 第140回
(日) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

● 指揮:大友直人
● ピアノ:フセイン・セルメット

● バルトーク:ピアノ協奏曲 第2番
● エルガー:交響曲 第1番

S¥7,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500



ブルックナー ここに極まれり

7/20 第722回 定期演奏会
(土) 18:00 サントリーホール

21 第137回 新潟定期演奏会
(日) 17:00 リューとぴあ

新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

● 指揮:ジョナサン・ノット
● ラヴェル:クーブランの墓 (管弦楽版)
● ブルックナー:交響曲 第7番

[7/20] S¥9,500 A¥7,500 B¥6,500 C¥4,500 P¥3,500

[7/21] S¥8,500 A¥7,000 B¥5,500 C¥4,000 D¥3,000



軽井沢シリーズ 第3回 ~慶太楼 meets 軽井沢!~

8/15 (木) 軽井沢大賀ホール

11:00 0歳からのコンサート

0歳から入場可能!原田慶太楼とトーク付きの1時間のコンサート。おむつ
替え室&授乳室あり。

全席指定(1階席のみ)¥1,000、0~2歳無料(ひざ上の場合無料)

17:00 オーケストラコンサート

● 指揮:原田慶太楼
● メゾソプラノ:林美智子*
● スメタナ:交響詩「我が祖国」より第2曲「モルダウ」
● ショーソン:「愛と海の詩」*
● シュトラウスⅡ:「こもり」序曲、「春の声」
● サティ(編曲:山本菜摘):ジュ・トゥ・ヴ*
● メンデルスゾーン:「真夏の夜の夢」より
● スケルツォ、間奏曲、夜想曲、結婚行進曲



東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ

公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、23年には《エレクトラ》が第1位に選出された。



Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. "Elektra in Concert Style(2023)" won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of "Salome in Concert Style(2022)" on Ongaku no Tomo magazine as well as the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
[TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION]
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT SERIES
Symphony

Symphony 2024年(令和6年)6月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト